

～準ミリ波帯広帯域固定系無線アクセスシステム技術の研究開発～

委託先：(株)日立国際電気

研究代表者：(株)日立国際電気

情報通信システム研究所 主管技師長 古谷 正博

研究期間：平成14年10月～平成17年3月

主な研究実施場所：東京都小平市

研究成果：自治体、学校、公民館、公共機関、離島などを18GHz帯大容量無線ネットワークでつなぐ地方自治体の地域イントラネット、防災無線システムアプローチ回線や、非常災害時の臨時回線を構築するためのシステムを開発した。準ミリ波帯では降雨による減衰が大きいため、降雨減衰等による回線状況の劣化に応じ、適切な変調方式を選択する適応変調方式を採用した。これにより降雨時でも回線が切断することなく伝送距離10kmの長距離に対応し、常時安定な伝送を維持し、最大100Mbit/s伝送を可能とする高速無線

アクセスシステムの開発を行った。

研究成果説明図：

